

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	和合の歴史と文化を伝える実践事業
事業主体 (連絡先)	和合の歴史と文化を伝える会 (下伊那郡阿南町和合846-1)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,316,764 円

#### 事業内容

和合地区の文化と歴史を広く知ってもらい、その一方で地元の人々にも郷土の良さを自覚してもらうため、様々な教室開催等を行った。各行事開催に合わせて産物販売や郷土食提供。

- ・吊るし雛教室開催：6月
- ・古文書教室開催：7月と9月
- ・そば打ち教室開催：10月
- ・町文化財宮下家住宅整備：12月
- ・『いま書き残す和合の人々』出版：3月



【「そば打ち教室」講師デモ打ち】

#### 【目標・ねらい】

- ①和合の魅力を発信するため、多くの人に和合に足を運んでもらう。
- ②和合の人に、地元の文化・歴史を再確認してもらう。
- ③地域教育の場を提供する。

#### 事業効果

①各教室参加者は、地元から上伊那郡在住者まで予想以上に多数の人が集まった。各教室に参加した人たちは、その教室の内容だけでなく、和合の自然や人々との関わりも楽しんでいた。

②地元の文化風習を受け継ぐ若者がいない状況の中で、自分の生活や思いを本にして残せたこと、郷土食作りや産物販売で交流できたことは、地元の老人たちにとって心躍る体験となった。

③小学校の古民家見学、古文書教室が授業にくみこまれ、参加した子どもたちも興味を持って学習した。

#### ※自己評価【 A 】

##### 【理由】

- ・多彩な教室を開催でき、多くの人が和合に足を運んでくれた。
- ・行事への参加によって地元の人々同士の交流が活発になった。
- ・古民家の整備・本の出版で今後の地域活性化に生かせる物が残った。

#### 今後の取り組み

吊るし雛教室・そば打ち教室・古文書教室はそれぞれ好評で次年度も開催希望の声が多かったので、開催を目指して調整中。なお、同趣旨の事業として夏行う講演会は古民家関連で講師に内諾を得ており、3月のコンサートも継続が決まっている。和合の魅力を知ってもらうために人を呼び込む行事をこれからも行っていきたい。

宮下家については県宝指定の方向だと聞いている。現在は夏の念仏踊りと3月の雛まつりに公開だが、今回の整備を生かして通年公開に近づけていきたい。また、和合小学校以外の学校も学習に有効利用できるようにしていきたい。

和合の文化と歴史を本の形にできたので、地元にはゆかりのある人々や郷土史・民俗に興味の有る人たちに有効活用してもらえようように広く知らせていきたい。